

産業部長（川北誠喜君）

小川議員の白山市の海岸林の現状をどのように把握しているのかについてお答えいたします。

白山市の海岸林は、冬季の強い風と飛砂から集落や田畑を守るため、古くから海岸林を守り育てられてきました。クロマツの海岸林は、乾燥してやせた砂地でも生育し、白砂青松の風景をつくり出し、地域の人々にとって祖先から伝わるふるさとの森として重要な役割を果たしているものであると認識しております。

しかし、昭和46年ごろから石川県内で発生した松くい虫による被害が拡大し、白山市での松枯れによる被害木の体積は、平成25年度には220立方メートル、平成26年には493立方メートル、平成27年には427立方メートルとなっており、継続的に有効な対策を進め海岸林を守っていかねばならないというふうに考えております。

以上でございます。